# めぐみの森だより　2023年8月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎ 03-3480-4448

7/7(金)七夕の金曜日、『年長の夕べ』を無事に執り行うことができました。当日は、天気の心配をすることなく過ごすことができ、予定していたプログラムをすべて行えました。特に今年初めて行った「たなばたゆ」では、いつものプールがお湯屋さんに変身！！夕暮れ時、ぬるめのお湯につかりながら、キラキラ光るおもちゃと、子どもたちのたくさんの笑顔が見られ、準備した職員たちも大満足の夜でした。

昨年もお伝えしましたが、幼児クラスでは毎月聖書の話をする「お話し会」を設けています。7月の聖書の箇所は「天は雨を滴(したた)らさせた」と短い言葉でした。ちゅうりっぷ組は1クラスで行い、ひまわり組、ゆり組は合同で話をしました。「天はどこのこと？」『てんごく』「天は空のことかな。」「これは知っている？」と雨の写真を見せると、『あめ。』「みんな雨を降らせることできる？」『できる！』と張り切って答えたのはちゅうりっぷ組の子どもたち。ひまわり組、ゆり組の子どもたちは、そこはしっかり『できない。じょうろでならできるよ。』と答えてくれ、ちゅうりっぷ組の子どもたちと同じように『できる。』なんて答えられてしまうとなかなか話が進まないので、『できない。』と答えてくれ肩をなで下ろし、話を続けます。「そうだね。できないね。」

次に川の写真と、ビル群の写真を見せ、「どっちが涼しいと思う」『こっち』とみんなしっかり川の写真を選んでくれました。他にも、海、森の写真を見せながら話を進め、最後に水道の写真を見せました。「この水はどこからくると思う。」『・・・』なかなか難しい質問です。「蛇口の水は、開けるとでて閉めると止まる。簡単に水を使うことができるけれど、この水が水道からでるには、雨が降ってそれが川に集まったり、地面にしみたりして、長い時間をかけてやっとここの水道からでてくるんだよ。」『みずもきれいになってる！』なんてこともわかっている子どもたちもいます。「水道から水は簡単にでるけど、だからといっていっぱいだして、急に水がでなくなっちゃたらどうする？」『こまっちゃう。』「そうだね。どうしたらいいと思う？」『だいじにつかう。』「そうだね。大事に使うようにお願いしてもいい？」『うん。』

もう一度、川、森、海の写真を見せ、「こういうところを何ていうと思う。」『かわ、うみ。』質問の意味も分かりづらかったなと反省しましたが、「これを自然というんだよ。こうやって自然がなくてビルばっかりだと、今日みたいにどんどん暑くなっちゃうんだよ。」と。写真を使い、少しでも子どもたちに自然の大切さがわかるといいなと話をしました。実は話の途中で、川と、ビル群の写真を見せ「どっちが好き？」と聞いてみると、ほとんどの子どもたちがビルの写真を指差しました。東京で育っている子どもたちの感覚がわかりやすく表れ「私はこっちの方が好きなんだ。」とだけ伝えてみました。

近年、異常気象による災害がニュースになり、「今まで生きていてこんなことになったのは初めてです。」と被害にあった方がインタビューに答える場面が珍しくありません。誰もが予想もつかないような気候変動が起きています。これから大人になる子どもたちの未来も安心して暮らしていくことのできる環境を守るため、自分のできる小さなこと(エアコンの設定温度を少し高めに設定する。ペットボトルを買わずナルゲンボトルを持ち歩く等)でいいから取り組んでいきたいと改めて思いました。そして、都会のビルより自然の方が心地よいと感じる感覚も育っていくといいなと個人的に思いました。

記：藤本

## ≪今月のおすすめ紹介≫

この時期に限定で発売されている“梨味のアイス”みなさまどこかで出会っていませんか？始まりはパピコの梨味を見つけ美味しさにびっくり。それを友だちに伝えると、「パピコの梨味は、3年振りの発売。私は、あちこちのコンビニで買いしめているよ。」とのこと。それ以来、梨味のアイスが気になってしまい、スーパーや、コンビニに行くたびにアイスコーナーを物色しています。そこで出会った美味しい梨味のアイスをいくつか紹介します。とても人気なようで、お近くのスーパーや、コンビニでまだ売っているのかはわかりませんが是非探してみてください。

パピコ

Kracie　しずく

SAKURE

アイスの実